

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第110号（3. 8. 25） 保育施設での感染拡大を防ぐ措置を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 発熱外来を充実し、希望する全ての人に直ちにPCR検査が受けられるようにすること。 2. 保育施設の職員に対して、定期的なPCR検査の実施をすること。 3. 子供を抱えて自宅療養を余儀なくされている人の実態をつかむこと。また、周囲に自宅療養・待機となる人がいる妊婦への配慮など対策をとること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 神戸市保育運動連絡会 朝 倉 ユ ミ</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>福祉環境委員会</p>

2021年8月25日

神戸市会議長 様

神戸市保育運動連絡会

朝倉ユミ

神戸市中央区

電話

保育施設での感染拡大を防ぐ措置を求める陳情書

感染拡大が急増しているなか、保育所運営にご尽力いただき感謝申し上げます。

第5波と言われる全国的な感染爆発のなか、子どもたちの感染が急増しています。厚生労働省によれば、10代以下の感染者数は7月20日～8月17日の1か月間で6倍以上に増えています。経済活動を支えている保育施設は、コロナ禍の中でも開所し続けています。家族内感染から子どもへの感染、そして施設感染のリスクも増え続けています。家庭内感染から施設内感染を未然に防ぐため、同居の家族が発熱した場合も子どもには、自宅待機をお願いしています。しかし、保育料の軽減措置がないなかで、協力をお願いとしか言えず保護者の就労を考えると難しい選択を迫られています。また、感染した保護者は、自宅療養を余儀なくされ、妊婦が感染の不安を抱えながら家族の看護をするという事例や、両親ともに陽性で、子どもは陰性でも育児をしながらの自宅療養となり、両親が完治してから子どもは、濃厚接触者と認定されるため二週間の自宅待機を余儀なくされるという事例など出てきています。

全国的な感染拡大にともない、医療体制の逼迫が起こっている中で行政の支援は、急務です。下記の項目について陳情します。

【陳情項目】

1. 発熱外来を充実し、希望するすべての人に直ちにPCR検査が受けられるようにしてください。
2. 家族の発熱などで自宅待機をした子どもの保育料の軽減をしてください。
負担 軽減
3. 保育施設の職員に対して、定期的なPCR検査の実施をしてください。
4. 子どもを抱えて自宅療養を余儀なくされている人の実態をつかみ、休業保障や保育の保障、そして妊婦への配慮など対策をとってください。
補償

以上

教育子ども委員会所管分は
陳情第109号

福祉環境委員会所管分は
陳情第110号